

東京 2020 パラリンピック競技大会実施競技

陸上競技 (視覚、肢体、知的)	水 泳 (視覚、肢体、知的)	自転車 (視覚、肢体)
トライアスロン (視覚、肢体)	卓 球 (肢体、知的)	アーチェリー (肢体)
柔 道 (視覚)	車いすテニス (肢体)	車いすフェンシング (肢体)
馬 術 (肢体)	ボート (肢体、視覚)	カヌー (肢体)
パワーリフティング (肢体)	ボッチャ (肢体)	射 撃 (肢体)
バドミントン (肢体)	テコンドー (肢体)	
車いすバスケットボール女子 (肢体)	車いすバスケットボール男子 (肢体)	ウィルチェアラグビー (肢体)
シッティングバレーボール女子 (肢体)	シッティングバレーボール男子 (肢体)	5人制サッカー男子 (視覚)
ゴールボール女子 (視覚)	ゴールボール男子 (視覚)	

(参考) パラリンピック日本代表選手への過程

ステ ップ	個人競技	団体競技
1	選手は国内競技団体 (NF) に選手登録	選手は国内競技団体 (NF) に選手登録
2	選手が NF 公認大会に参加し、国内クラスの認定を受ける	選手が NF 公認大会に参加し、国内クラスの認定を受ける
3	選手が NF 公認大会に参加し、競技結果 (記録や順位) により、強化指定選手 (日本代表候補など) の認定を受ける。	選手が NF 公認大会に参加し、その選手の競技力評価により、強化指定選手 (日本代表候補など) の認定を受ける。
4	選手は NF が派遣する国際競技団体 (IF) 公認大会に参加し、国際クラスの認定を受ける。	選手は NF が派遣する国際競技団体 (IF) 公認大会に参加し、国際クラスの認定を受ける。
5	選手は NF が派遣する IF 公認大会に参加し、競技結果 [公認記録 (成績)] により、IF 公認ランキング等に記載される。	選手が参加した国内及び国際大会における競技力により、NF からパラリンピック強化指定候補選手等の認定を受ける。
6	選手が参加した IF 公認競技会の記録 (成績) が IF 公認ランキング上位に位置づけされる。あわせて、パラリンピック標準記録を突破する。	NF が実施する日本代表選手選考会 (競技能力審査など) により、日本代表選手の決定を受ける。
7	IF 公認大会における日本選手の競技結果などにより、日本選手枠 (数) が割り当てられる。	パラリンピック参加資格獲得競技会 (世界選手権大会、地域選手権大会、最終予選会など) において、上位の競技結果により、日本代表チームがパラリンピック参加資格を獲得する。
8	NF が定める、パラリンピック日本代表選手選考規定などにより、NF から日本パラリンピック委員会 (JPC) に推薦される。	NF が定める、パラリンピック日本代表選手選考規定などにより、NF から日本パラリンピック委員会 (JPC) に推薦される。
9	JPC は、JPC パラリンピック日本代表選手選考規定により日本代表選手を決定する。	JPC は、JPC パラリンピック日本代表選手選考規定により日本代表選手を決定する。

* 国際競技団体のホームページへは、日本障がい者スポーツ協会から、または JPC 加盟団体のホームページからアクセスできます。

http://www.jsad.or.jp/paralympic/jpc/pdf/H29jpc_group_170921.pdf